

●総務
新コミュニケーション
地域防災行政無線を導入
災害時の通信確保も

最近、災害と安全についての社会的な関心は、ますます高まってきています。こうした状況のもとで災害の未然防止にはさまざまな対策が講じられており、そのなかでも村単位で行う通信網の整備は、もっとも急がれているもののひとつでした。また、平常時においては、住みよい村づくりのため、多くの広報活動を的確、効率的に行わなければならないと。このため今年、新規事業として一億円余りを投入して進める「地域防災行政無線システム」は、村行政におけるこの二つの重要な課題「災害時の住民の安全確保と、平常時における広報活動の円滑化住民へのサービス向上」を目的に、通信網の整備・充実

のため設置します。この無線システムは、役場と村内を無線で結び村民に広報を流したり、緊急情報の連絡ができる固定系（同報無線）と役場内での業務と個別受信機一五〇個を、移動系は十五局を計画しています。いずれも遠隔制御機能を持ち、新時代に対応したシステムを導入します。これにより、全村をカバーできる通信サービスが可能になります。開局は来年一月一日を予定しています。

また交通安全対策は、新入学児童交通安全ハガキの配付や部落案内標識10基の設置など約六百三十万円を計上。

厳しいな

上越新幹線の上野乗り入れ、関越自動車道の全通と、新しい時代の幕が開く新潟県そして岩室村——。村の家計簿ともいえる昭和60年度一般会計当初予算をご紹介します。

予算総額は18億6千万円。59年度に比べて、1.09%（2千万円増）の伸びです。歳入（収入）のグラフに見るように自主財源が乏しく、国・県のお金に頼る率が高い構成です。予算編成に当たっては、限られた財源の重点的かつ高率的な配分に徹し、節度ある財政運営を行うことを基本的に編成、「夢とやすらぎのあるふるさとづくり」「岩室村に住んで本当に良かった」といわれる、人間らしさにあふれる村づくりを進めることに意を用いました。

では、限られた財源を有効に使うために、どんな工夫をしたのでしょうか。

60年度の重点施策は、新規事業として地域防災行政無線事業の導入です。その外、継続事業としての水田利用再編対策の促進、村道の改良整備、社会福祉の充実など9項目（別掲）です。

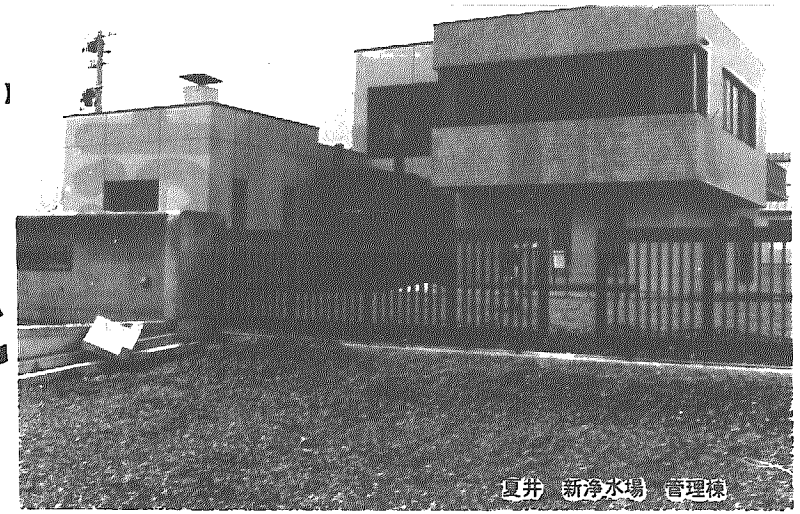
公共事業については、生活環境整備を中心に実施します。もちろん、福祉や医療など村民サービス向上のために真に必要な分野には、できるかぎり配慮しています。

行財政の改革も行いました。間瀬支所の廃止、新浄水場建設に伴う企業課の独立とともに、新しく商工観光課を設置するなど組織と事業を見直し、行政の簡素合理化を続けます。

厳しい財政環境のなかでも村勢にバイタリティを与えるため、村民の皆さんが必要とされる分野には、積極的に取り組んだ予算です。

それでは、村長の施政方針（要旨）を中心に、特徴ある事業についてお知らせします。

かにも活力を

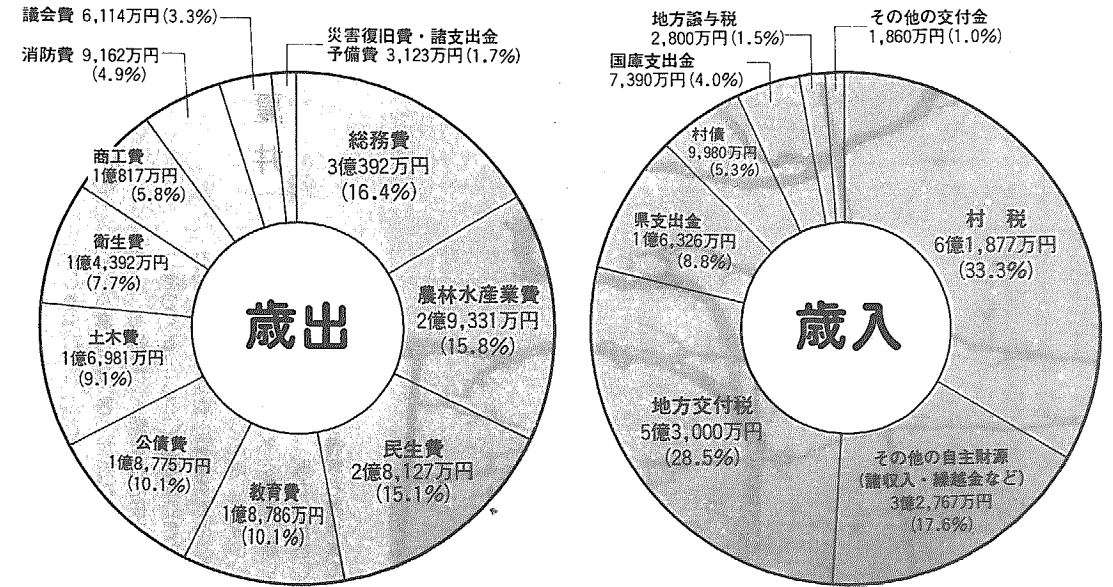


夏井 新浄水場 管理棟

- 60年度の重点施策
- ▽地域防災行政無線事業
 - ▽水田利用再編対策
 - ▽村道の改良整備
 - ▽および国道の整備促進
 - ▽社会福祉の充実
 - ▽農村総合整備モデル事業
 - ▽治山林道事業
 - ▽商工観光および水産事業
 - ▽青少年対策および交通安全対策事業
 - ▽農協統合の促進
 - ▽第二次水産施設整備拡張事業

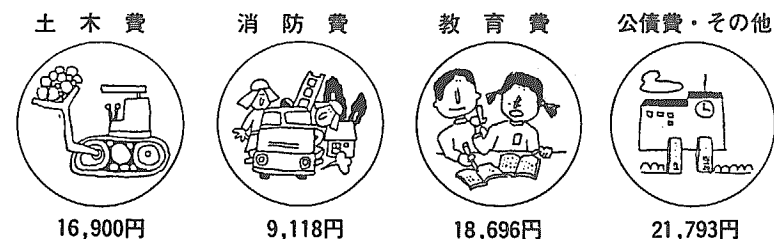
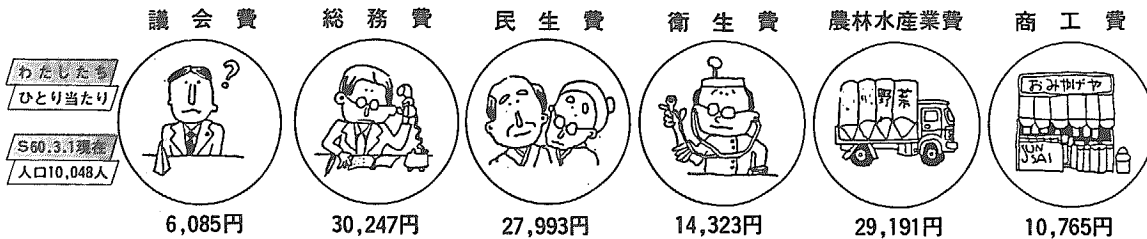
一般会計予算
18億6,000万円

昭和60年度予算 35億円



〈会計別予算額〉

会計別	予算額
一般会計	18億6,000万円
国民健康保険	4億3,163万円
老人保健	4億3,240万円
水道事業	5億9,057万円
農業共済	1億2,091万円
温泉集中加熱事業	5,529万円
土地取得	365万円
合計	34億9,445万円



わたしたち
ひとり当たり
560.31現在
人口10,048人